SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

第32回 日本海夕陽ラインシンポジウム in 鶴岡
～次代は、さらなる可能性への道を結ぶ～

15：10より YouTubeにて配信開始！

鶴岡青年会議所

第1部 JCプレゼンテーション

テーマ「次代への道を切り開く、日沿道の役割とは」

第2部 パネルディスカッション

テーマ「次代がもたらすまちづくりとつながる道の未来像」

パネリスト
・次代を担う若者たち
・皆川　治 氏［鶴岡市長］

ファシリテーター
・佐藤友介 氏
［日本海夕陽ラインネットワーク協議会 会長］
［公益社団法人鶴岡青年会議所 理事長］

日時：2020 10.17(Sat)
13:00～16:40

会場：鶴岡市温海ふれあいセンター
(山形県鶴岡市温海戊577-1)※関係者以外は入場できません。

主催：日本海夕陽ラインネットワーク協議会

主管：JCI 公益社団法人 鶴岡青年会議所

副主管：
一般社団法人 大館青年会議所・一般社団法人 鹿角青年会議所
鷹巣阿仁青年会議所・一般社団法人 能代青年会議所
公益社団法人 秋田青年会議所・公益社団法人 由利本荘青年会議所
一般社団法人 酒田青年会議所・一般社団法人 庄内中央青年会議所
一般社団法人 いわふね青年会議所
一般社団法人 にいがた北青年会議所

問い合わせ先：〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5　TEL 0235-24-0377 ／ FAX 0235-22-5090

第32回

日本海夕陽ラインシンポジウムin鶴岡

～次代は、さらなる可能性への道を結ぶ～

◎日時
2020.10.17(Sat)
13:00～16:40

◎会場
鶴岡市温海ふれあいセンター

日本海夕陽ラインシンポジウムは、日本海沿岸東北自動車道沿線の青年会議所にて日本海夕陽ラインネットワーク協議会を組織し、日本海沿岸東北自動車道の全線開通の早期実現と持続可能なまちの発展に向けて活動をしています。

その中で、日本海沿岸東北自動車道の早期実現を活動指針と捉え、シンポジウム等の事業にて、関係諸団体と共に多くの発信をして参りました。今年で32回目を迎え、多くの区間で開通し、未開通区間も事業化や開通予定が決まって参りました。

しかし、社会、経済、ライフスタイル、価値観の変化や今回の新型コロナウイルスによる感染症がもたらした社会生活の変化に伴い、観光や防災、物流、医療などを維持し向上につながるインフラ整備の利用と効果も変化する必要性を共有することが重要であると考えます。そして、次代を担う高校生達と共に、変化に適応する社会、地域づくりを考えていただく機会を創出することで、地域住民が新たな未来への希望を持てる持続可能なまちへの機運を高める一助となると考えています。

本年、先輩諸兄姉が築き上げた想いを大切に発展へとつなぐ行動を、我々公益社団法人鶴岡青年会議所が主管となり日本海沿岸東北自動車道が全面開通されることで実現される持続可能なまちの都市像を伝える「第32回日本海夕陽ラインシンポジウム」を鶴岡市にて開催致します。

スケジュール

13:00	受付開始
14:00	式　典 ・日本海夕陽ラインシンポジウム開始 ・オープニング ・開会宣言 ・開催地市長挨拶 ・来賓祝辞 ・祝電披露
15:00	休　憩
15:10	第1部　JCプレゼンテーション（ライブ配信） **「次代への道を切り開く、日沿道の役割とは」**
15:30	第2部　パネルディスカッション（ライブ配信） **「次代がもたらすまちづくりとつながる道の未来像」** パネリスト ・**次代を担う若者たち** ・**皆川　治** 氏［鶴岡市長］ ファシリテーター ・**佐藤友介** 氏 ［日本海夕陽ラインネットワーク協議会 会長］ ［公益社団法人鶴岡青年会議所 理事長］
16:30	閉　会

プロフィール

皆川　治 氏
鶴岡市長

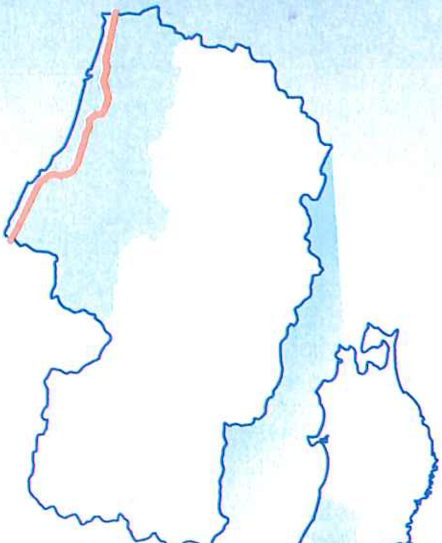
S49.10　山形県鶴岡市生まれ
H 9. 3　宇都宮大学農学部卒業
H 9. 4　農林水産省入省
H26. 3　農林水産省退官
　　　　故郷の鶴岡へUターン
H26. 5　東北公益文科大学特任講師(～H29.3)
H29.10　鶴岡市長に就任

佐藤友介 氏
日本海夕陽ラインネットワーク協議会 会長
公益社団法人鶴岡青年会議所 理事長

会場案内図

問い合わせ先　公益社団法人 鶴岡青年会議所 事務局　〒997-0802 山形県鶴岡市伊勢原町8-5　TEL 0235-22-0377　FAX 0235-22-5090

日本海沿岸東北自動車道

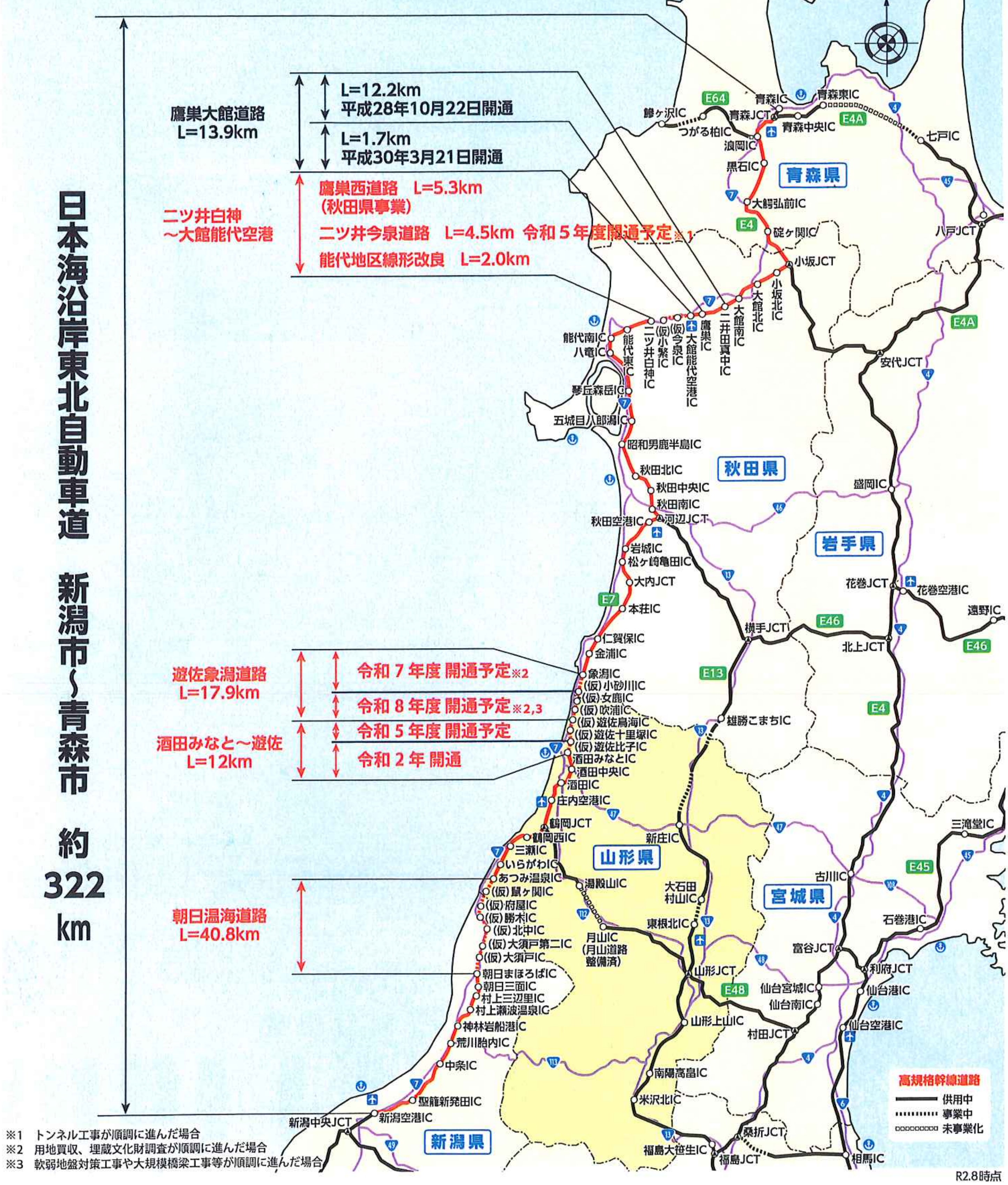


朝日温海道路
酒田みなと～遊佐
遊佐象潟道路

国土交通省

国土交通省東北地方整備局 酒田河川国道事務所

日本海沿岸東北自動車道　整備状況



R2.8時点

日沿道の整備状況

R2.8時点

区　分	延　長	構成比
計画延長	322km	
開通済	252km	約78%
事業中	70km	

※計画延長及び開通済み区間について、山形道、秋田道の重複区間は集計対象外とした。対象外区間：鶴岡JCT～酒田みなとIC、河辺JCT～昭和男鹿半島IC

国土交通省

国土交通省東北地方整備局
酒田河川国道事務所
〒998-0011 山形県酒田市上安町一丁目２－１
TEL：0234-27-3331（代）
URL：http://www.thr.mlit.go.jp/sakata/

令和２年10月作成

再生紙を使用しています。　VEGETABLE OIL INK　環境保護のため、ベジタブルインキを使用しています。

日本海沿岸東北自動車道

事業概要

日本海沿岸東北自動車道は、新潟県から山形県・秋田県の日本海側を縦断し、東北縦貫自動車道と連結し、青森県に至る高規格幹線道路です。高速ネットワーク形成により災害時における緊急輸送と速達性の確保、第三次救急医療施設へのアクセス改善、及び日本海側拠点間の交流・連携強化などの効果が期待されています。

酒田河川国道事務所では、山形県内の「朝日温海道路」、「酒田みなと～遊佐」、「遊佐象潟道路」の事業を進めています。

事業区間の計画諸元・事業経緯

一般国道7号 朝日温海道路

区　間	起点　新潟県村上市川端（朝日まほろばIC） 終点　山形県鶴岡市大岩川（あつみ温泉IC）
延　長	40.8km
標準幅員	13.5m（2車線）
構造規格	第１種第３級
設計速度	80km／h
全体事業費	1,900億円

H 9．2	基本計画決定 （日本海沿岸東北自動車道）
H24．1	計画段階評価完了
H24．12	都市計画決定 （山形県区間）
H25．1	都市計画決定 （新潟県境区間）
H25．5	事業着手

酒田みなと～遊佐（直轄高速）

区　間	起点　山形県酒田市藤塚 終点　山形県飽海郡遊佐町北目
延　長	12km
標準幅員	暫定13.5m（2車線） ※将来４車線完成時22.0m
構造規格	第１種第３級
設計速度	80km／h
全体事業費	310億円

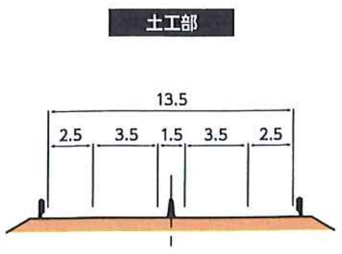
H 9．2	基本計画決定
H21．4	都市計画決定
H21．5	整備計画決定
H21．5	事業着手

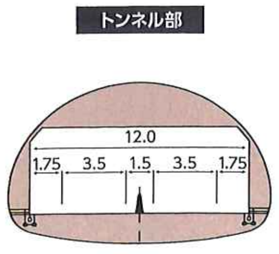
一般国道7号 遊佐象潟道路

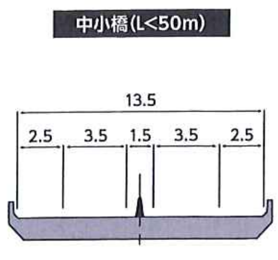
区　間	起点　山形県飽海郡遊佐町北目 終点　秋田県にかほ市象潟町小滝
延　長	17.9km
標準幅員	13.5m（2車線）
構造規格	第１種第３級
設計速度	80km／h
全体事業費	520億円

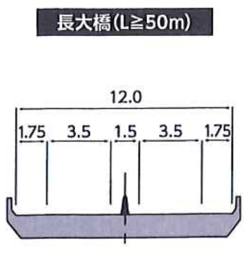
H 9．2	基本計画決定 （日本海沿岸東北自動車道）
H24．1	計画段階評価完了
H24．7	都市計画決定
H25．5	事業着手

標準幅員









期待される整備効果

安全・安心確保への期待

越波等の災害時における集落の孤立を回避

新潟・山形県境の国道７号では越波による通行止めが頻繁に発生し、豪雨・豪雪時には迂回路の寸断による集落の孤立の可能性もあります。

日沿道の整備により、自然災害による交通規制時も代替路が確保されることで、災害に強い道路ネットワークが確保されます。

▼国道７号越波の状況

第三次救急医療施設までのアクセス改善

日沿道整備により、酒田市にある日本海総合病院への搬送時間の短縮が期待されます。

鶴岡市鼠ヶ関地区では、既に開通した日沿道（あつみ温泉IC～鶴岡JCT）により、鼠ヶ関地区からの救急搬送時間が8分短縮、朝日温海道路の開通により19分の短縮が期待されます。

また、秋田県にかほ市からは、酒田みなと～遊佐間、遊佐象潟道路の整備により、12分の短縮が期待されます。

産業振興への期待

世界につながる航空機産業 輸送効率化で競争力強化

日沿道沿線地域には航空機関連の企業が多数立地し、企業間取引において日沿道が利用されています。

製品の組立に必要な部品の一部は秋田、山形県内から村上市に輸送されており、日沿道の整備により、輸送の効率化が図られ、競争力強化が期待されます。

観光への期待

アクセス向上による観光客の更なる増加に期待

- あつみ温泉IC～鶴岡JCT開通によるアクセス向上と地区再生を目的としたまちづくりの取り組みにより、あつみ温泉の観光客が増加、地域経済にも寄与しています。
- 日沿道の整備により、アクセス性が向上することで、周遊観光の拡大、庄内地域の観光地を訪れる観光客の増加が期待されます。

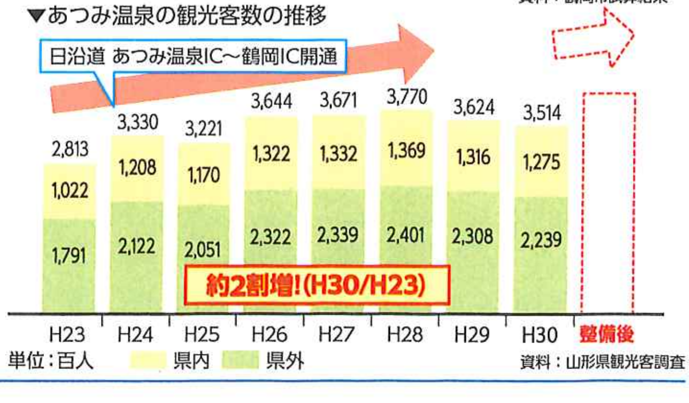
あつみ温泉アクセス性向上による観光面での経済効果

H28観光消費額がH23と比べ約15.5億円増（試算）

日沿道の整備により更なる増加に期待

資料：鶴岡市試算結果

▼あつみ温泉の観光客数の推移



資料：山形県観光客調査